

クイズ正解者に
富山のガラス作品
(ぐいのみ)を
プレゼント!



富山の作家が制作したガラス製ぐいのみを抽選で5名様にプレゼントします。詳しい応募方法は裏面をご覧ください。

クイズ 富山市の呉羽丘陵西側に位置するガラス文化の中心的エリアの名称は？

「グラス・アート・〇〇〇富山」

※〇〇〇に入る3文字をお答えください。

とやま
から
あなたへ



TOYAMA
CITY
TIMES 2012
vol.2



◆発行部数:3,000部 ◆発行・編集:富山市企画調整課(〒930-8510 富山県富山市新桜町7-38) ◆発行:平成24年8月
◆ご意見・お問い合わせ:TEL.076-443-2010 Email:kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp

厳しい残暑が続いておりますが、みなさまはいかがお過ごしですか。
そんな時には、見た目も涼しく心も落ち着く、透き通った「ガラス」はいかがでしょう？
富山とガラスの意外な関係とは？ さらに、富山に誕生する新スポットをいち早くお知らせします!!

特集 ガラスの街とやま

今回の特集は「ガラスの街とやま」です。そもそも富山とガラスはどんな関係があるの？と思われた方もおられるかもしれませんが、実は富山は全国でも有数のガラス文化の拠点なのです。

ガラスと富山の意外な関係

富山ガラス工房スタッフの永井さんに、富山のガラス文化についてお話を聞いてみました。

「富山とガラスにはどんな関係があるのですか？」

「実は富山の産業の多くは、有名な富山のくすり文化と関係があります。ガラスについても例外でなく、例えば戦前には、薬を入れるガラス瓶の多くが富山市内で製作されていました。」

富山では、このような歴史をふまえて、新しい文化や産業の定着を目指し、20年以上にわたってガラス文化の振興を進めてきた結果、市民を中心にガラス文化が根付いてきたという経緯があります。」

「富山のガラス工芸の特徴は何ですか？」

「富山のガラス工芸の特徴は、特定の技法や素材ではなく、個性的で多種多様なスタイルにあります。現在、富山県内には、80名以上のガラス作家が活動しており、これらの作家が切磋琢磨することで各々の作品が洗練され、芸術性の高い富山のガラス文化が生み出されているのです。」

富山へお越しの際はぜひガラス工房へお



富山ガラス工房ショップ内

立ち寄りいただき、実際に見て触れて、その価値を感じてください。」

富山の「ヒルズ」?

「ところで、みなさんは「ヒルズ」をご存知ですか？ いえ、六本木ヒルズではありません。今話題のヒルズといえは、そう、「グラス・アート・ヒルズ富山」です。」

「グラス・アート・ヒルズ富山」は富山市の呉羽丘陵西側に位置し、全国で唯一の公立ガラス作家養成専門学校である「富山ガラス造形研究所」や、ガラス作家の制作拠点である「富山ガラス工房」など、ガラス関連施設が集中している、富山のガラス文化の中心的エリアです。」

富山ガラス工房では、プロのガラス作家の制作に限らず誰でもガラス制作体験ができ、また、県内外の作家のガラス作品が購入できるショップや、ガラス装飾が素敵なカフェも併設されていますので、ゆったりとガラス文化に浸っていただくことができます。」

第2工房がOPEN!

さらに、今年の9月29日(土)には富山ガラス工房の「第2工房」がオープンします。

この第2工房では、多くの方にガラス制作を体験していただけるだけでなく、著名なガラス作家による吹きガラスの制作の様子を観覧するためのスタジアム(客席約70席)を備えており、富山のガラス造形技術を身近で体感していただくことができます。」



富山ガラス工房第2工房(完成イメージ)

ます。」

9月29日(土)30日(日)には、無料でガラス制作などができる「ガラスフェスタ2012」も開催されますので、この機会に富山のガラスの魅力を感じてはいかがでしょうか。

問合せ/富山ガラス工房
電話番号/076-436-2600

魅力あふれるガラスの街へ

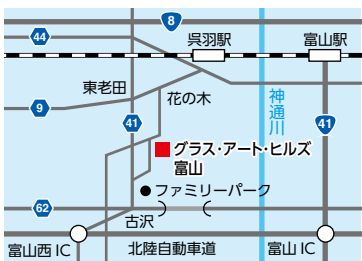
「歩いて暮らせるまちづくり」を推進している富山市では、中心地区にガラスのショーケースを配置し、歩きながらガラス作品を鑑賞していただけるなど、「グラス・アート・ヒルズ富山」だけでなく、様々な場面でガラス文化に触れることができます。」

また、平成27年春には、大和百貨店跡地に「ガラス美術館」が併設された複合施設も完成する予定です。

これからますます華やかに「ガラスの街とやま」にご注目ください!



グラス・アート・ヒルズ富山入り口(完成イメージ)



中心地区のショーケース

「おわら風の盆」が

はじまります

(期間 9月1日～3日)



富山市の南西部に位置し、江戸時代には「富山藩の御納戸」として栄えた富山市八尾町。この八尾では、毎年9月1日から3日までの3日間、300余年の歴史を今に伝える伝統行事「おわら風の盆」が開催されます。

格子戸の民家、土蔵等、昔の面影を残す町並みに数千のぼんぼりが立ち並び、三味線、胡弓、太鼓の音に合わせて哀調帯びた唄や格調高い踊りが、坂の町を揃いの法被や浴衣姿で流し歩き、編み笠の波が行き過ぎます。

その唄踊り・演奏は優雅で気品があり、「日本の道百選」に選定された諏訪町本通りをはじめとした八尾の古き良き町並みと併せて、これまでに文人をはじめとした多くの人々に愛されてまいりました。今では3日間約20万人の方に訪れていただいております。

9月1日～3日は、富山市八尾のおわら風の盆にぜひおいでください。

おわら風の盆行事運営委員会HP
<http://www.yatsuo.net/kazenobon/>

新感覚アクティビティ

ジップラインアドベンチャー立山

ジップライン。それは、森の中に張ったワイヤーを、滑車を使って滑り降りる今注目のアクティビティです。立山山麓スキー場にある「ジップラインアドベンチャー立山」は、昨年のオープン以来、カップルやファミリーなど、幅広い年代の方が楽しめる新しい人気スポットとなりました。

大自然の中を颯爽と駆け抜けるこの新感覚を、あなたも立山山麓で味わってみませんか。



- [期間] 4月21日(土)～11月11日(日)
- [料金] 大人 3,300円 中・高校生 2,800円 小学生 2,300円
(ゴンドラ乗車料を含みます) ※ネット割引、シニア割引有
- [住所] 富山県富山市本宮花切割3-25
(立山山麓スキー場らいちょうパレーエリア)
- [服装] 動きやすい服装であればOK ※雨天時は要雨具
- [参加制限] 身長120cm以上の方。体重25kg以上、120kg未満の方。
- [予約方法] 参加前日の16:30までに、電話またはWEBでお申し込みください。
予約専用電話:076-481-1633(大山観光開発㈱)

ジップラインアドベンチャー立山HP <http://zip-tateyama.com/>

富山の新しい魅力を届けます

CREA & 富山市

富山市では、㈱文藝春秋とコラボレーションし、富山市の洗練されたイメージを発信しています。

9月10日発売予定の、CREA TRAVELLER2012秋号では、「トヤマガジン」第2弾として「立山」「富山のガラス」など、心身を澄みわたらせる旅先として、富山を紹介しております。今まで見たことのない新しい富山の一面を知っていただけたらと思いますので是非ご覧になってください。

また、掲載された内容は文藝春秋の運営するウェブサイトに「CREA WEB」にて紹介されますので、「こちらにも」ご覧ください。

CREA WEB HP
<http://crea.bunshun.jp/>

コラム富山 No.2 めっとくさい?

今回のコラムは「めっとくさい」です。夏の暑い日にバイクに乗るとどうしても汗がたまってヘルメットのニオイが気になる——ということではありません。

「めっとくさい(めったくさい)」は富山弁で、「みっともない」という意味があります。ただ、最近、若い人はこういった富山弁をあまり使わなくなってきました。

先日、朝の情報番組のアンケートで「男性がキュンとする方言」のアンケートをとったところ、「富山弁」が全国で2位だったということでした(1位は京都弁)。このように実はカワイイ富山弁。「めっとくさい」とは思わずに、若い人にも日常で使ってほしいものです。(編集者)



ご意見・ご要望をお待ちしております。抽選で富山のガラス作品をプレゼント!

富山市では、本紙に対するご意見・ご要望をお待ちしております。①住所 ②氏名 ③表面のクイズの答え ④良かった記事 ⑤その他ご意見等を記載の上、はがきもしくはメールにて9月20日必着で送付してください。抽選で5名様に富山のガラス作品(くいのみ)をプレゼントします。

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。

宛先

〒930-8510 富山県富山市新桜町7-38 富山市企画調整課
 メールアドレス kikakutyosei-01@city.toyama.lg.jp

ふるさとへの移住をサポートします

ふるさと回帰フェア開催

「ふるさと回帰フェア」は、認定NPO法人ふるさと回帰支援センターが主催するイベントで、主に地方への移住希望者を対象として、毎年9月に東京と大阪で開催されており、今年で8回目となります。

開催期間中は、移住に関する講演会や地方自治体の移住相談ブースなどが設けられ、都心から地方への移住希望者をはじめとして、約2万人の方が来場されています。

9月17日(月・祝)の東京会場(会場 早稲田大学)では、富山市をはじめとした富山県内の各自治体も相談ブースを設置します。富山への移住に関心のある方はもちろん、富山の生活・暮らしを知りたいという方も、お気軽にお越しください。

「ふるさと回帰フェア2012 HP」
<http://www.furusatokaiki.net/fair/2012/>